

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名 No. 560710 一般被保険者高額療養費支給事業		主管課名 保険年金課								
	この事務事業の位置		課長名 塚田 芳司								
	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし									
	施策	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち									
	基本事業	国民健康保険の適正な事業運営									
	(1)事業の概要										
	医療の高度化傾向に対応し、被保険者の一部負担金の軽減を図ることを目的として、算定基準額を超える場合に高額療養費を支給。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)							
				名称	単位						
				一般被保険者高額療養費	千円						
				その指標							
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		国民健康保険団体連合会から通知される医療費に基づき、被保険者が負担する一部負担金のうち、自己負担限度額を超えた額を支払う。									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)								
一般被保険者			名称	単位							
			一般被保険者数	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)								
一般被保険者の自己負担の軽減を図る。			名称	単位							
			一般被保険者高額療養費支給件数	件							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)								
公平な負担のもと、健康で安心して暮らしてもらう			名称	単位							
			特定健診受診率	%							
			保険税収納率(現年度分)	%							
			1人当たり保険税調定額	円							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		千円	214,178	251,771	261,842	272,316	283,208	294,537			
(6)の対象指標		人	10,824	10,833	10,887	10,941	10,996	11,051			
(7)の成果指標		件	3,648	4,407	4,429	4,451	4,473	4,496			
(8)の結果の成果指標		%	30.5	32.2	41	47	53	60			
		%	92.8	92.3	93	93	93	93			
		円	87,118	89,938	90,388	90,840	91,294	91,751			
(10)予算費目		会計	02 国民健康保険特別会計			款	02	項	02	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	214,178	251,771	248,279	255,462	262,098	268,290			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	54,504	85,575	90,000	94,500	99,225	104,186			
	一般財源	千円	159,674	166,196	158,279	160,962	162,873	164,104			
人件費B		千円	3,832	2,517	2,517	2,517	2,517	2,517			
正職員従事時間×人数		時間×人	790×1	450×1	450×1	450×1	450×1	450×1			
正職員以外の人件費		千円	856	848	848	848	848	848			
その他費用C		千円	259	148	148	148	148	148			
トータルコストA+B+C		千円	218,269	254,436	250,944	258,127	264,763	270,955			
単位あたりコスト		千円/人	20	23	23	24	24	25			
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 560710 一般被保険者高額療養費支給事業	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和48年 から	医療の高度化、高額医療費に該当する被保険者が増加し、高額医療費の金額が増加している。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 自己負担が高額になり、被保険者にとって経済的に大きな負担となったことによる	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 国民健康保険法第3条 この事務を行う根拠又は理由 法により市町村が保険者となり、事業をする必要がある。
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく → 結びつかない →	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい → 多少影響がある → 影響はない →	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容 法による実施事業のため
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 退職被保険者高額療養費支給事業 類似事業との再編の可能性 ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない →	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない →	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない →	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持